

漁村伝承文化「建切漁業(巾着漁)」

神津島 (こうづしま)



【場所】東京都神津島村



島の人口: 2,068 人
島の面積: 18.48 km²
(平成 17 年国調)

昔から漁業の盛んな神津島では、漁師が集団で持ち場を組んで行う伝統漁法「建切網漁（巾着漁）」が行われており、船主組合という組織を中心に、漁船にかかわる神事などが残されています。港口には漁船の豊漁安全を見守る龍神様が祀られ、毎年8月2日、物忌奈命神社の例大祭に行われる「神津島のかつお釣り行事」では、漁師の若者たちが神社境内を漁場にみだてて、かつおの一本釣りの所作を演じ、その年の豊漁を祈願します。また、生活の中で信仰されてきた猿田彦大神や数多くのお堂、良質な天草で作るトコロテンや明日葉汁をはじめとする郷土料理など、神津島の伝承と暮らしの景観が引き継がれています。

写真上：建切網漁

写真右：天草干し



問い合わせ先：国土交通省都市・地域整備局離島振興課

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3

TEL 代表 03-5253-8111(内 33-144) 直通 03-5253-8421